

# こもれび

地域から信頼され、地域の健康を支え続ける病院を目指して、みなさまと当院をつなぎ、森に差し込む“こもれび”のような、ひとすじの光をお届けします。

Nagasaki Prefecture Shimabara Hospital  
2023 10月号



災害訓練を実施しました

## Contents

- ・ 専門医に聞く  
悪性リンパ腫について  
血液内科医長 北之園 英明・・・2~3
- ・ お知らせ  
長崎県島原病院ロゴマークが決定しました・・・4
- ・ 令和5年6月24日に  
院内災害実働訓練を実施しました・・・5
- ・ 部門トピックス  
看護部門紹介・・・6  
1.5TMRI装置のご紹介・・・7
- ・ おうちで簡単おいしいkitchen  
「秋茄子とかぼちゃのラタトゥイユ」・・・8

## 病院理念

- 〈Mission〉  
地域の健康な未来を創造する
- 〈Vision〉  
良質な医療の提供に努め、地域から信頼され、  
地域の健康を支え続ける

## 基本方針

1. 安全・安心で質の高い医療を提供する
2. 患者への思いやりのある温かなチーム医療を行う
3. 職員が自ら学ぶ前向きな姿勢をもち、誇りを持って業務を遂行する
4. 医療を取り巻く社会環境の様々な変化に柔軟に対応できる経営の効率化と経営基盤の構築を図る
5. 患者、医療・介護施設から行政まで幅広く対話を図り、地域と連携し、選ばれる病院となる

# 悪性リンパ腫について

血液内科医長 北之園 英明

島原病院血液内科の北之園英明です。長崎大学病院と長崎医療センターの血液内科で勤務した後、2021年4月より当院で診療しています。当院のある島原市は美しい山に囲まれており、豊かな自然に恵まれています。農業が盛んですので、美味しい野菜や肉が手に入りやすい環境にあります。また、島原の方々は温かく、楽しく毎日の生活を送っています。

血液内科は、悪性リンパ腫・白血病・多発性骨髄腫・多血症・再生不良性貧血などの血液疾患を扱っています。この中で悪性リンパ腫・白血病・多発性骨髄腫は、いわゆる血液のがんに相当します。

ここでは悪性リンパ腫を例として取り上げて説明します。悪性リンパ腫は、リンパ球が増殖し、主にリンパ節が腫大する疾患です。体の表面から触れやすい首、腋（わき）、鼠径部（太ももの付け根）のしこりで気づくことが多いですが、発熱の原因を詳しく調べる過程でみつかることもあります。1年間あたり数kgの体重減少や寝汗をかくような症状を伴うこともあります。

## 悪性リンパ腫の主な症状



【リンパ腫大】



【発熱】



【体重減少】

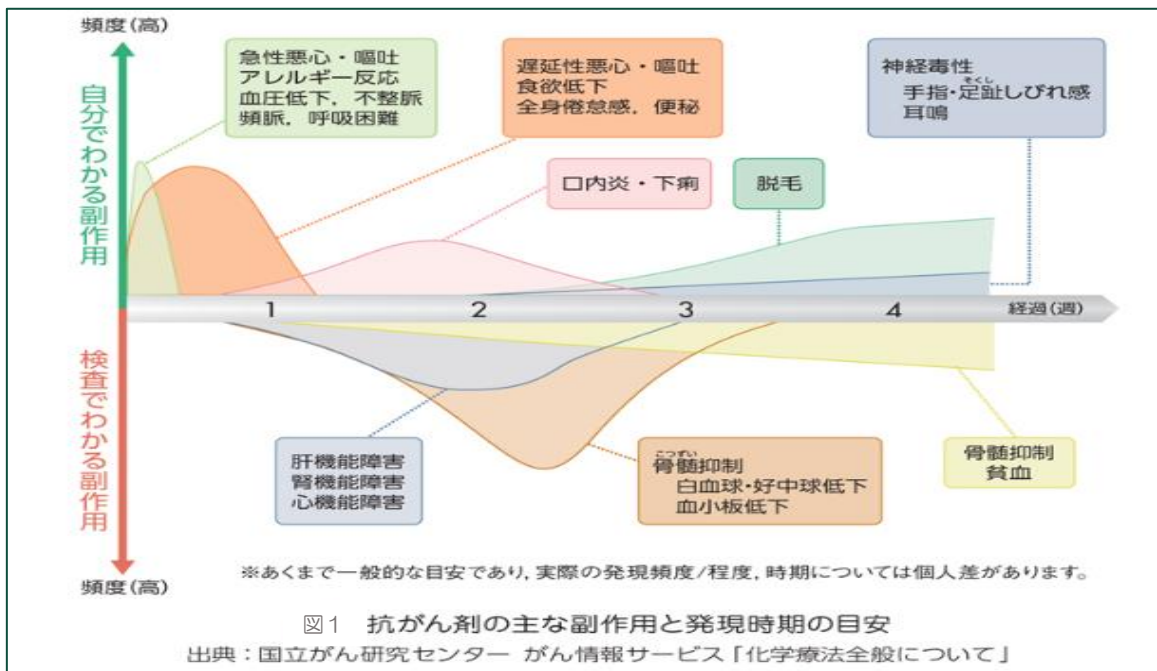


【寝汗】

大規模な臨床試験によって科学的に治療効果が示され、かつ安全性が許容された治療のことを標準治療と呼びます。悪性リンパ腫の標準治療としては、化学療法（抗がん剤）、放射線療法、幹細胞移植などがあります。当院では、入院または外来で化学療法と放射線療法を行うことができます。幹細胞移植が必要な場合には、他院へ紹介しています。

初診時の悪性リンパ腫の治療は、化学療法が中心になります。例えば、1コース3週間、8コースの治療を行い、全体では半年間となります。最初のコースは入院し、副作用がないか注意深く観察します。問題なければ、外来での化学療法に移行することが多いです。

化学療法の副作用としては、吐き気・便秘・下痢・脱毛・血球減少などがあります。ここでは血球減少について説明します。血液中には赤血球、白血球、血小板という成分があります。抗がん剤投与してから1～2週後に、血球減少のピークを迎えます（図1）。十分に血球が回復し、感染症などの問題がなければ次のコースに進むことができます。



一連の化学療法の治療が終わった後、治療効果が良ければ、外来で経過観察を行います。維持療法と呼ばれる化学療法を2か月ごとに2年間行う場合もあります。

残念ながら再発した場合には、初回とは異なる化学療法を行います。年齢や全身状態が許す場合には自家幹細胞移植を行うこともあります。これは、あらかじめ自分の幹細胞を採取することで、より強度の強い化学療法を行うものです。自家幹細胞移植は当院で行っていないため、長崎医療センターに紹介します。

悪性リンパ腫では、成人T細胞白血病リンパ腫（ATL）などで同種幹細胞移植を行う場合もあります。これは自分以外のひとから幹細胞をもらうことにより、免疫反応によるがん細胞への攻撃することを期待するものです。当院からは長崎大学病院に紹介することになっています。

以上が悪性リンパ腫の診療の概要となります。

当科は、現在私1人で診療を行っていますが、長崎大学病院血液内科と関係を保ち、診断・治療方針の決定が困難な症例においては相談しています。

当科は島原半島で唯一の血液内科であり、今後も地域の医療を支えるため、努力を続けていきますので、よろしくお願いします。

## 血球の働きについて

**赤血球**は、全身の細胞に酸素を運ぶ役割をしています。体内の赤血球の量が著明に低下すると貧血と呼ばれます。貧血が進行すると、息苦しさや体のだるさを感じるようになります。

**血小板**は、ケガなどの出血時に止血する役割をしています。血小板減少が進行すると、出血症状がみられるようになります。消化管や脳の出血は生命に関わります。赤血球や血小板の数が減少したときには、輸血を行うことができます。

**白血球**は免疫の役割を担っており、体内に侵入した細菌やウイルスと闘っています。白血球減少に対しては、輸血による補充はできません。その代わりに働く白血球を増やす薬を使うことができます。これにより、感染を予防します。いざ感染症を起こした場合には、抗生剤や抗ウイルス薬などの治療を行います。



お

知

ら

せ

## 長崎県島原病院ロゴマークが決定しました



副院長 山西 幹夫（TQM委員会）

島原病院のロゴマークが出来ましたので、ご紹介します。

令和4年4月に、病院理念を「地域の健康な未来を創造する」と新たに掲げ、それを機に病院独自のロゴマークの作成にも着手しました。TQM委員会が先導役となり、全職員にロゴマークに込める病院のイメージや役割についてのアンケートを行い、それを踏まえて院内でロゴの公募を行い、多数の作品の中よりこのマークを選出いたしました。

今後いろんな場面で活用していく予定です。多くの方々の中に浸透していくことを願います。



### 作品コンセプト（作品に込めた思い）

放射線科 井上 陽太

普賢岳と有明海に見守られるようにたたずむ島原病院。有明海を水色、普賢岳を黄緑、医療の中核を担う島原病院をエネルギーな赤で表現しました。このカラーリングは長崎県病院企業団のロゴマークを彷彿させる色使いであり、島原病院が「長崎県島原病院企業団の一員である」ことを連想させるものとなっています。また全体の形をハート型で形成することで、病院理念の中にもある「信頼」「健康」「思いやり」などの言葉から感じ取れる「優しさ」も表現しました。



### ロゴマークの活用について

決定したロゴマークは、Webサイト、封筒、名刺、刊行物、印刷物、映像など、広範囲に活用してまいります。



# 令和5年6月24日に 院内災害実働訓練を実施しました

日本DMAT隊員・DMATロジスティクス隊員・  
長崎県災害支援ナース・日本防災士 外来看護師 金子龍太郎

皆さま、災害拠点病院はご存じでしょうか？災害拠点病院とは、平成8年に厚生労働省の発令により「災害時における救急医療体制の充実強化を図るための医療機関」であり、各県の2次医療圏に1か所以上設ける事になっています。その機能として、災害時に多数傷病者の受け入れと治療・搬送ができること、災害医療派遣チーム（DMAT）を保有すること、施設が耐震・防火設備になっていること、地域医療機関と毎年訓練を実施することが要件になっています。当院は長崎県より指定を受け、県南地区の災害医療体制を担っています。長崎県内では、離島を含め13施設が指定を受けています。

当院では、災害拠点病院としての機能を維持させる為に、毎年大規模な災害訓練を実施しています。令和2年～4年は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、大規模な実働訓練は実施できませんでしたが、それでも管理者が主体となり毎年机上訓練を実施し、災害に備えた訓練と準備をして参りました。今回、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、4年ぶりに災害実働訓練を実施しました。当院職員、島原広域市町村組合消防本部、長崎県立大学シーボルト校、県南保健所の計157名で院内災害実働訓練を実施し、災害時の初動体制や多数傷病者の受け入れ、関係医療機関との連携を確認する事ができました。4年ぶりの開催ではありましたが、各自の基本的な行動を確認し、災害医療の重要性を再認する事ができました。災害は、いつ・どこで発生するかわかりません。災害の種類によっても対応が異なる事もあります。近年、群発する災害に対して如何に柔軟に、迅速に対応できるかが問われます。災害医療は、災害拠点病院だけでなく、医療機関や施設等も平時より備えた訓練と準備が必要です。災害医療の目標は「多数傷病者に対して最大限の医療を提供することと、平時の医療体制へ迅速に戻すこと」です。沢山の医療従事者が一枚岩になって、患者さんと医療従事者、地域が平時の状態になるようにサポートする事が災害拠点病院の責務と考えます。これからも継続した訓練や事業継続計画（BCP）の定期的な見直しを行い、地域の災害医療の中心的な役割を担って行きたいと思っております。



【災害対策本部指揮官の  
浦原院長】



【災害現場での救護風景】



【入口ロビーの状況】



【重症エリアの診療風景】

# 看護部門紹介

看護部長（認定看護管理者） 小松 美佳  
 副看護部長 松本 とよか  
 副看護部長兼地域医療支援センター 松尾 美津子

少子・超高齢・多死社会の進展に伴い、地域包括ケアシステムの構築が推進されています。島原半島の人口は、2040年には8万6千人、高齢化率51%と推計され、医療提供体制の整備と医療・看護・介護の連携強化、地域における看護職の確保と活躍推進が求められています。

長崎県病院企業団の基幹病院である当院は、「企業団キャリアラダー」に則って看護師の教育を行っています。企業団キャリアラダーはレベルⅠ～Ⅴがあり、認定されると長崎県病院企業団より認定バッジが公布されます。

当院には、診療看護師1名、特定認定看護師1名、認定看護師8名が在籍しています。患者さんへ質の高い看護を提供するために2019年より院内認定制度として「IVナース」コースを開始し、2024年の医師の働き方改革に向けたタスクシフト・シェア（業務の移譲や移管）にも貢献しています。2023年度は、健康回復や重篤化を回避するための視点を育成する目的で、クリティカルケア認定看護師を中心に「救急看護」コースを開始しました。地域医療支援病院としての役割を果たすためにも今後、認定看護師が地域で活躍できるよう支援していきたくと考えます。また、当院は、固定チームナーシングで看護ケアを提供しています。5月には、固定チームナーシング研究会名誉会長である西元勝子先生と看護組織研究所代表の杉野元子先生を講師として、固定チームナーシングで看護ケアを実践されている哲翁病院の看護職、介護職の方々と合同で研修会を行いました。今後も地域の医療機関や施設の方々と共に学んでいきたくと思います。



## 各部署ではこんな取り組みを行っています

### 3階東病棟

看護師長 田中敬子  
(皮膚・排泄ケア認定看護師)

脳神経外科と整形外科(周術期)の混合病棟です。8割近くが緊急入院のため、常に受け入れ体制を整えています。急性期から早期にリハビリテーションを行い、多職種チームで早期離床・機能回復支援を行っています。

### 4階東病棟

看護師長 廣瀬えり奈

消化器・血液・循環器内科と放射線科の病棟です。内科の患者さんは、疾患を抱えながらもそれとうまく付き合う必要があります。私たちは、患者さんが自分らしく生きていくことができるように、多職種で支援をすることを大切にしています。

### 4階南病棟

看護師長 菅 忍

呼吸器内科・小児科・感染症を受け入れる46床の病棟です。小児から高齢者まで幅広い年齢の患者さんを担当しています。化学療法、人工呼吸器管理等、専門性を活かした看護が提供できるように学習会や研修によって知識、技術の向上に努めています。

### 5階東病棟

看護師長 井上美里

外科・泌尿器科・整形外科の混合病棟です。術前・術後の全身管理や疼痛管理、その後の回復の支援、化学療法や緩和ケアなどのがん看護を提供しています。笑顔を大切に、患者さんに寄り添う看護をモットーに頑張っています。

### 5階南病棟

(地域包括ケア病棟)  
 看護師長 吉田真由美

急性期治療を終え、在宅・施設への退院に不安がある方を受け入れています。患者・家族の意向に沿い、一人でも多くの方が住み慣れた地域へ戻れるよう多職種と協働し支援していきます。

### ICU

看護師長 溝田吟恵

8床を有し術後や高工エネルギー外傷、脳卒中ホットライン、全科の重症者や急変の患者さんを受け入れています。毎朝、多職種ウォーキングカンファレンスを実施し、アセスメントを行いその日の目標を設定し、治療・看護・ケアを行っています。

### 手術室

看護師長 飛永智恵

外科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科の手術を24時間体制で行っています。年間の手術件数は約1300件です。手術を受ける患者さんが安心して手術に臨めるよう、多職種チームでの連携強化に努めています。

### 外来

看護師長 植田和恵

救急外来・一般外来における診療の介助や外来で行う各種検査の介助を行っています。患者さんやご家族に対し、分かりやすい説明や丁寧な対応、安心・安全な医療・看護の提供ができるよう心がけています。

## 1.5T MRI装置更新のご紹介

放射線科 田尻 裕紀

MRI検査とは強力な磁力をもつ機械の中に体を入れて電磁波をあてることで、体の中の状態を撮像できる検査です。電磁波を用いているため放射線による被ばくの心配はありませんが、検査中は工事現場のような騒音が発生します。

T（テスラ）は磁力の単位を表す言葉ですが、当院には3Tと1.5TのMRI装置があります。令和5年3月には1.5T装置「Avanto」を、同じ1.5T装置の「Avanto Fit BM(写真1)」へ更新しました。更新したことにより画質の向上はもちろん、検査時間の短縮にもつながっています。

同じ1.5T装置への更新ですが、画質の向上や検査時間の短縮につながった理由としては検査時に患者様へ装着する信号受信コイルにあります。コイル(写真2・3)の中に入っている受信機の数が増えたことで画像信号をより多く受信できるようになったことや、最新の高速撮像技術を使用できるようになっています。また、騒音を小さくすることも可能で、小さなお子様にも安心して検査を受けていただけるよう努めています。

装置更新により新しくできるようになった検査としては肝臓エラストグラフィがあります。肝臓エラストグラフィとはMRIを利用して肝臓の線維化を診断するための検査であり、肝臓の硬さを評価することができます。Wave imageが波の伝わり方を、Color imageが物質の硬さ（相対値）を示します(写真4)。この技術は肝線維化を侵襲性なく検査できるとが最大のメリットであり、通常の肝臓の撮影も同時に行えるため、様々な肝疾患の診断に役立ちます。肝生検の結果とも高い割合で一致しているという報告もあり、近年期待が高まっている検査の一つです。

MRI検査は強力な磁力を利用した検査のため、金属類を身に着けたまま検査を行うことができません(写真5)。アクセサリなど外せる金属類はすべて全て取り外していただくようお願いしていますが、手術等で体内に埋め込まれた金属類は取り外すことができません。近年は人工関節や血管ステントなどMRIに対応した金属類も多く存在していますが、検査前には必ず確認が必要です。検査を受ける際には問診表の記入をお願いしていますので、ご協力よろしくお願いたします。



写真1 Avanto Fit BM MRI装置



写真2 ヘッドコイル



写真3 ボディコイル

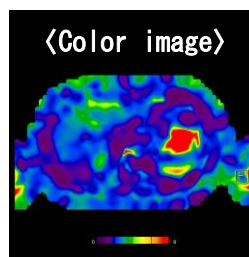
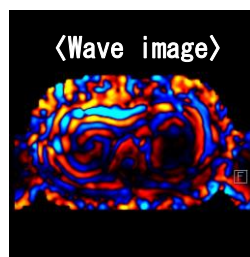
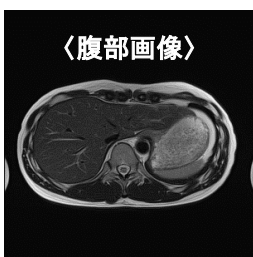


写真4 肝臓エラストグラフィ



写真5

秋茄子とかぼちゃのラタトゥイユ 

管理栄養士 磯本 朗

食欲の秋がやってきました！何でもおいしく、ついつい食べ過ぎてしまう季節ですね…。今回は秋に美味しい野菜をたくさん使用したレシピを紹介します。

健康のPoint!



かぼちゃは野菜の中でもベータカロテンやビタミンEを多く含み、抗酸化作用が高い食品です。また、食物繊維やカリウムも多く、快便、むくみ解消にも効果的！かぼちゃは夏に採れるイメージですが、採れたてよりも追熟したものが味もよく、栄養価も高くなるため、秋が食べごろです。今回はかぼちゃや茄子、エリンギを使用していますが、レンコンやサツマイモ、カブ、きのこなどの秋野菜を使ってもおいしくいただけます。パスタやバゲット、鶏肉や魚料理のソースとしても使用でき、レパートリーが広がりますよ。

[材料(2人分)]

かぼちゃ	140g
茄子	1本
玉ねぎ	1/2玉
エリンギ	1本
ベーコン	2枚
ニンニク	1片
オリーブオイル	大さじ1
パセリ	少々
トマトホール缶	1缶
★顆粒コンソメ	小さじ1
★塩コショウ	少々
★砂糖	小さじ1

[栄養量(1人分)]

エネルギー：250kcal  
たんぱく質：6.5g  
脂 質：6.7g  
食 塩 量：1.3g



[作り方]

- ①なす、エリンギはスライスし、かぼちゃ、玉ねぎは2cm角、ベーコンは1cm幅にカットする。
- ②フライパンに弱火で火をかける。オリーブオイルを入れ、ニンニク、ベーコンを加えて香りを出す。
- ③①の野菜を加え、炒める。
- ④野菜がしんなりしたらトマト缶を加え、全体にからめる。★の調味料を加え、蓋をして弱火で約10分煮込む。
- ⑤蓋を開けて少し水分を飛ばし、塩コショウで味をととのえる。
- ⑥器に盛り、パセリを散らして完成。

[調理のPoint]

- Point①  
食材は少し大きめにカットすると、野菜のホクホク感が楽しめます。
- Point②  
かぼちゃはあらかじめレンジで加熱しておくとも時間短縮になります(600w2分)
- Point③  
にんにくはチューブでも代用できます。

外来受付時間

午前8：45～午前11：00 (土・日・祝日・年末年始を除く)

受付時間外に受診される場合は、救急対応となります。  
※詳しくはホームページをご覧ください。

〒855-0861 長崎県島原市下川尻町7895番地  
TEL 0957-63-1145 FAX 0957-63-6544  
URL <https://shimabarabyoin.jp>  
右のQRコードからアクセスできます→

